

児童運営のリサイクル活動でエコの輪が広がり自己肯定感向上

文部科学大臣賞 広島県 福山市立春日小学校

水と季節の花々に囲まれ、市民の憩いの場所として親しまれる春日池公園を校区に抱える同校。マラソン大会などの学校行事が行われる公園は児童にとっても身近で、青少年育成協議会が主催する園内の清掃美化活動に積極的に参加している。合わせて、一斉下校時には、地域に広く散乱しているペットボトルや空き缶などを回収する作業を実施。その後、どのような散乱ごみが多いのかを分析しながら、ポイ捨てごみ対策を練っている。

そうした実地学習を通じて、自分たちの地域環境をもっとよくしようと児童が率先して始めたのが、「ふくやまエコトライアスロン」。主に4年生が中心となり、毎週水曜日をリサイクルの日と定め、アルミ缶やスチール缶などの回収に励む活動で、市が取り組む環境配慮行動とリンクして進め、児童が宣伝や運営を担っているのが最大の特徴だ。ポイント制にするなど楽しみながら環境活動に参加する工夫が随所に盛り込まれている。

この仕組みをもっと知ってもらい、地域にエコの輪を広げたいという意欲が高まった児童は、地域文化祭で啓発活動を展開。ポスターやプラカード、チラシを作成し、リサイクルやごみの分別の大切さについてアピールする。さらに、近隣エリアの小学校や中学校にも発信し、児童会と生徒会の交流を通して取り組みを深化させている。

その様子を見守る民生児童委員の木下洋二さんは、「以前と比べて春日池公園の散乱ごみが減りました。なにより、子どもたちが清掃している姿を大人が目にするようになったからだと思います」と評価する。

通学時のあいさつ運動や、下校時の通学路見守り隊など、多岐にわたり支援に力を尽くす住民をはじめ、団体、行政に支えられて、環境に働きかける実践力を養っている児童たち。大きな達成感とともに自己肯定感が向上、ふるさとに愛着を寄せながらしっかりとした足場を築いている。



広島県福山市立春日（かすが）小学校

学校長：石井 秀司（いしい しゅうじ）

児童数：439名(2017年11月末現在)

住所：広島県福山市春日町浦上 2002 番地

電話：084-947-1104

アクセス：JR「東福山」駅よりクルマで約15分

写真上：一斉下校時に散乱ごみを回収する、上から2番目左：「ふくやまエコトライアスロン」で活発なリサイクル活動、右：リサイクル券で広がるエコの輪、上から3番目：祭りで率先して啓発運動、下：中学生に地域貢献の取組発信